

		ページ
<b>SKYLIGHT</b> 〈今月の焦点〉	大型ミリ波サブミリ波干渉計 (LMSA) 計画と 国際大型干渉計構想	石 黒 正 人 131 川 辺 良 平 阪 本 成 一 福 井 康 雄
<b>EUREKA</b> 〈研究紹介〉	銀河中心領域の高密度分子ガスと星形成	河 野 孝 太 郎 138
天球儀 〈読物〉	「しし座流星群」四方山話	阿 部 新 助 , 渡 部 潤 一 146 海 老 塚 昇
<b>ASTRO NEWS</b>	超強磁場中性子星 (マグネター) の発見	村 上 敏 夫 152
シリーズ	《 <sup>まらと</sup> 天空翔ぶ天文台 (3)》 宇宙ステーションからX線観測 全天X線監視装置 MAXI	三 原 建 弘 154
雑報	「宇宙探求のフロンティアと LMSA」	156
	好きな生徒にインプレッシブな経験を!	158
日本天文学会 1999 年春季年会プログラム		163
寄贈図書リスト		189
月報だより		189
星空市場		201

## [ 表 紙 説 明 ]

国立天文台と日本の電波天文学研究者グループが中心となって計画している大型ミリ波サブミリ波干渉計 (LMSA) の想像図。口径 10 m の高精度アンテナ 50 台をサブミリ波観測に適したチリ北部の標高約 5000 m の砂漠地帯に設置し、超高感度受信機と超広帯域分光相関器、位相補償技術などを新たに開発して導入することにより、波長 4 m から波長 350 ミクロンの波長域で最高 0.01 秒角という高い解像度と高い感度を実現する。星間塵による減光の少ないミリ波・サブミリ波帯の電波を LMSA を用いて高い解像度で観測することにより、宇宙、銀河、太陽系、および生命の起源について、大きな観測の手がかりを得ることができる。なお、イラストは池松均氏による。

(SKYLIGHT 参照)

(表紙イラストレーション：藤居保子)